

令和7年度

旭川市の決算状況

決算は、４月から翌年３月までの１年間にどのような収入があり、何にどれだけお金を使ったのかという結果です。令和７年度の決算と財政の状況をお知らせします。　【詳細】財政課☎25・5672

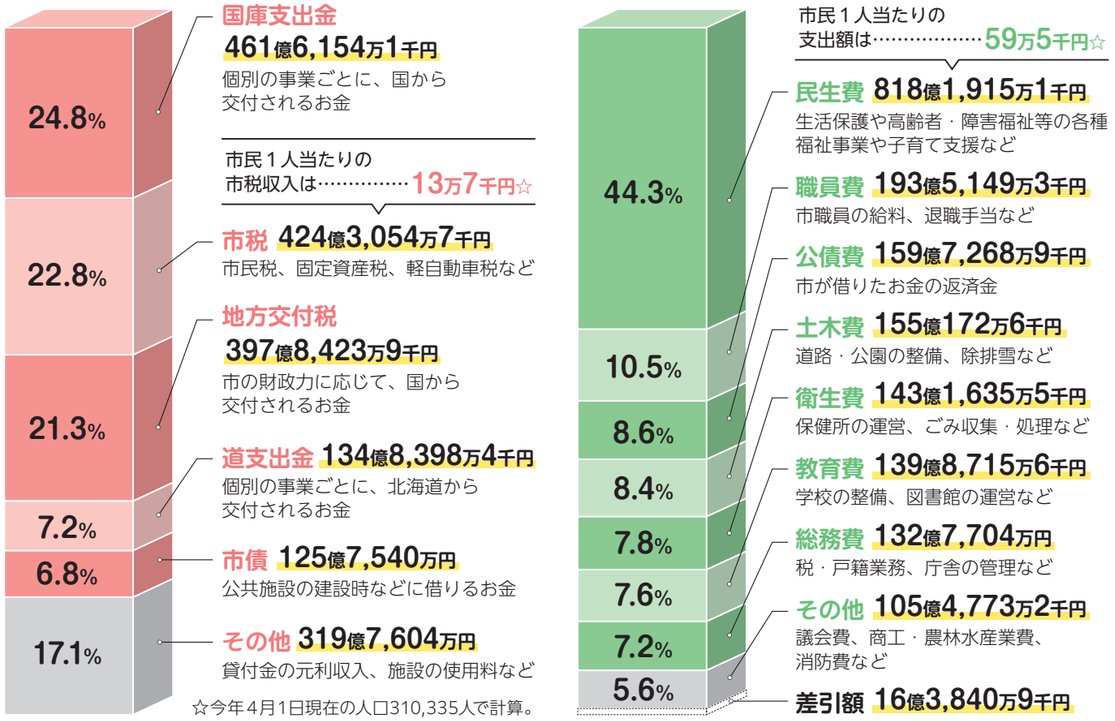


一般会計

道路や公園の整備、学校の建設、福祉事業、市民活動の支援、ごみ処理、健康づくりなど市の仕事を行うための基本的な経費についての会計です

収入 1,864億1,175万1千円
（前年度比　39億3,215万6千円増）

支出 1,847億7,334万2千円
（前年度比　39億7,870万6千円増）



①収入と支出の差引額 16億3,840万9千円　②令和８年度に繰り越した事業に使う額 3億1,246万1千円

➡ ①から②を差し引いた③実質的な収支額は13億2,594万8千円 となります

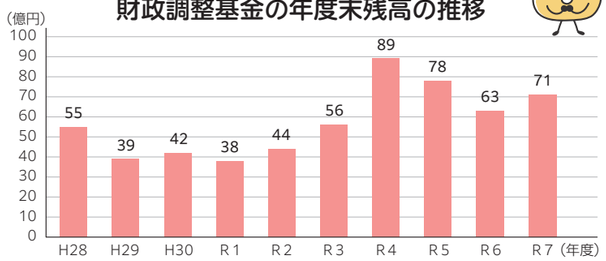
市の貯金の状況は？

財政調整基金は、災害などの予期しない支出や年度間の財政調整のための貯金です。令和７年度は７億円を編入したほか、取崩しを行わなかったため、運用利息の積立てを含めた年度末残高は前年度より増加して71億円になりました。

※条例に基づき、③の半分（７億円）を積み立てたため、同８年６月時点の残高は78億円です。



財政調整基金の年度末残高の推移



特別会計

市民の皆さんが納めた保険料等によって事業を運営するなど、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計とは別に設けている会計です



会　計　名	収　　入	支　　出	収入支出差引額
国民健康保険事業	331億8,871万3千円	328億1,480万9千円	3億7,390万4千円
動物園事業	22億1,309万7千円	22億1,309万7千円	0円
公共駐車場事業	8,187万5千円	8,177万9千円	9万6千円
育英事業	2億322万7千円	2億294万1千円	28万6千円
介護保険事業	379億4,672万7千円	373億8,343万4千円	5億6,329万3千円
母子福祉資金等貸付事業	1億6,231万円	1億5,405万3千円	825万7千円
後期高齢者医療事業	67億3,594万1千円	66億327万6千円	1億3,266万5千円
合　　計	805億3,189万円	794億5,338万9千円	10億7,850万1千円

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、民間企業のように利用者からの利用料などによって事業を行う会計です



会　計　名	区　分	収　　入	支　　出	収入支出差引額
水道事業	収益的	67億2,383万7千円	61億2,814万2千円	5億9,569万5千円
	資本的	32億7,769万4千円	68億9,161万3千円	△ 36億1,391万9千円
下水道事業	収益的	93億8,131万4千円	89億8,037万6千円	4億93万8千円
	資本的	35億9,033万9千円	61億7,278万9千円	△ 25億8,245万円
病院事業	収益的	124億7,851万5千円	135億6,934万9千円	△ 10億9,083万4千円
	資本的	14億1,909万9千円	20億4,651万3千円	△ 6億2,741万4千円

※収益的収入・支出＝水道料金、下水道使用料、病院診療報酬などの収入と、人件費や維持管理費、減価償却費、借入金の利子など事業の運営に必要な支出です。
※資本的収入・支出＝施設や設備の建設改良などの支出と、その財源となる企業債などの収入です。
※△は不足額。資本的収支の不足額は内部留保資金で補填（ほてん）しており、病院事業会計はこれに加えて一時借入金で措置しています。

市の借金の状況は？

市債とは、市が公共事業などを実施するための借金のことです。市債には、資金を調達する他に、利用する市民などの世代間の負担を公平にする役割もあります。令和７年度は近文清掃工場の基幹的設備改良に伴う借り入れなどで、前年度より建設事業等債は増加したものの、市債残高全体では減少傾向です。



特別減収対策債等
新型コロナウイルス感染症の影響による収入の不足分を補うために令和２年度に借りたお金

臨時財政対策債
国の財源不足による地方交付税の不足分を補うために借りるお金

建設事業等債
道路や学校などの建設事業などに必要な財源として借りるお金

市債の年度末残高の推移（一般会計）

